

図書館だより



no.234

2022(令和4)年1月21日発行

編集・発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

Tel 024-535-3218

Fax 024-536-4787

<https://www.library.fcs.ed.jp/>



《イベントのお知らせ》

「はしれディーゼルきかんしゃデーデ」関連講演会

東日本大震災直後の物流が途絶えた福島に、燃料を届けたディーゼル機関車をモデルにした絵本「はしれディーゼルきかんしゃデーデ」の作者、すとうあさえさんと鈴木まもるさんによる講演会を開催します。

日時：令和4年3月5日（土）12時50分から16時10分まで

場所：福島県立図書館 講堂

定員：120名（こども含む）

入場無料・事前申し込み制です。お申し込みは県立図書館へ電話（024-535-3220）または来館（総合案内・こどものへや）で受け付けています。



《展示のお知らせ》

「新聞のはじまり ～福島の新報の昔と今～」

場所：企画展示コーナー

期間：2月13日(日)まで



「YAの本」

場所：ロビー展示コーナー

期間：2月13日(日)まで

「神社と雑誌」

場所：軽読書コーナー

期間：3月2日(水)まで



「雑誌で読む文学賞」

場所：館内中央 雑誌展示コーナー

期間：3月2日(水)まで

《図書特別整理期間のお知らせ》

令和4年2月15日(火) から **2月21日(月)** まで休館いたします。

※以前にお知らせしていた日程から変更になりました。新しいカレンダーは館内で配布しています。

※上記の期間中に返却の際は、図書館正面玄関横の「返却ポスト」をご利用ください。

図書館 Twitter でも

随時お知らせを更新しています。



@fukushim_p_lib

井図書館員のオタク棚では、職員がお気に入りの本棚を紹介しています。

こちらもぜひチェックしてみてください。

新着案内

各分野の担当者が選んだ、お薦めの新着資料をご紹介します。

人文・自然・社会

『戦国時代劇メディアの見方・つくり方 戦国イメージと時代考証』大石学・時代考証学会／編 勉誠出版 2021.10 210.47/㊦21X

時代劇や歴史小説、歴史ものの漫画やアニメ、ゲームはお好きですか？

それらのコンテンツにおいて、史実と創作の狭間で重要な役割を担っているのが「時代考証」です。本書では、研究者、漫画家、俳優、ドラマ制作者、市民などの様々な視点から「時代考証」を考察します。また、歴史意識や歴史上の人物のイメージの変遷、それらと現代のポップカルチャーの影響関係にも注目。多様な時代劇メディアの実態と可能性を提示します。

新たな視点で歴史もののエンターテインメントを楽しみむきかけとなる一冊です。

『目の見えない白鳥さんとアートを見に行く』川内宥緒／著 集英社インターナショナル 2021.9 706.9/㊦219

友人の誘いで全盲の美術鑑賞者、白鳥健二さん51歳との美術館巡りを始めた著者。絵画や仏像、現代アートに至るまで、著者と友人の鑑賞作品に関する会話のやりとりから、白鳥さんはその意味を探ったり、様々な発見をしたりしていきます。この本の中では、「見る」とはスマホのカメラで撮るような対象を切り取るのではなく、鑑賞者のもっている知識や経験、思い出等の個人的体験が、作品の解釈＝「見る」に大きく影響を与えていることが分かります。同じ作品を鑑賞しても全く違う見方や解釈が会話の中で提示され、「見る」ことの意味を考えさせられます。また、作品を「見る」だけでは見えてこなかったアートの意味、生きること、障がいをもつこと、一緒に笑うことなど、読後には様々なことが見えてきます。

『風景印百科 2021 北海道・東北編』日本郵趣出版、郵趣サービス社(発売) 2021.5 693.8/㊦215

風景印とは、郵便局で使われている消印の一種です。郵便局の所在地近隣の名所や特産物がデザインされていて、差出人が希望した場合に押印されます。本書には、北海道と東北で使用されている印が採録されています。消印といえば円形のイメージがありますが、風景印の場合、桃やお椀の形をしたものもあります。自宅最寄りの郵便局やゆかりの地など、見ているだけで楽しい一冊です。

児童・児童図書研究

『絵本翻訳教室へようこそ(新装版)』灰島かり／著 研究社 2021.5 J801.7/㊦

絵本や児童文学の翻訳者でもあった著者が、自身の開催していたワークショップをもとに、絵本翻訳の方法を解説しています。絵本の翻訳と聞くと、大人向けの作品を翻訳するよりも簡単そうに思うかもしれませんが、難しさの質が違くと著者は言います。なぜなら、読み聞かせをしてもらった子どもが耳で聞いてもわかりやすい言葉を選ぶ、文章だけでなく絵からも情報を読み取るなど、絵本翻訳ならではの力が求められるからです。

雑誌・新聞

2022年がスタートしました。今年はいったいどんな1年になるのでしょうか。2022年の経済予測など特集している週刊誌をご紹介します。

『Newsweek』

第37巻第1号、通巻1773号、2021.12.28/2022.1.4 新春合併号 Z/051/N11

特集：ISSUES 2022

『サンデー毎日』

第101巻第1号、通巻5704号、2022.1.2・9日合併号 Z/051/S18

特集：2022年日本の「自立像」

『エコノミスト』

第99巻第47号、通巻4727号、2021.12.21日号 Z/330.5/E1

特集：日本経済総予測2022

第100巻第1号、通巻4727号、2021.12.28・1.4日合併号 Z/330.5/E1

特集：世界経済総予測2022

第100巻第2号、通巻4729号、2022.1.11日号 Z/330.5/E1

特集：2022投資のタネ 注目&企業

地域

『お話しお婆さんの「昔むかしのない」を語りつぐ』藤東ヨシ／編、横山幸子／語り、本田正一／切り絵 CIA 2021.11 L388/T21/1

平成2年11月から平成12年3月まで、毎日新聞のふくしま版で連載された、約200話もの昔話「昔むかしのない」を一冊にまとめた読み応えのある本です。語り部である横山幸子さんが語ったお話が、本田正一さんの切り絵で表現されています。まるでそばでお話を語ってもらっているような、あたたかい気持ちになれる一冊です。

『星座の人山川健次郎 白虎隊士から東大総長になった男』星亮一／著 ぱるす出版 2021.9 L289/Y9/9-2

明治から昭和にかけて、教育界に大きな影響を与えた山川健次郎。会津若松に生まれ、幼少の頃は白虎隊隊士として過ごし、戊辰戦争後はアメリカへ留学。イェール大学で物理学を学び、薩長藩閥政府の中で東京帝国大学の総長を務めた異色の人物です。

激動の時代の中、会津の精神を誇りに、人を育てることを使命として生きた男の半生が、生き生きとつづられています。